

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 93713 単位数 : 2

科目名	人文地理学	科目責任者	仁尾 泰明
課題と試験担当教員	仁尾 泰明		
履修方法	T テキスト学習		
ナンバリング	CTETC341		

■ 科目概要

地理学はアプローチの方法からみると、テーマごとの分析を行う一般地理学（系統地理学ともいう）と、地域ごとの理解・記述を目指す地誌学（地域地理学ともいう）とに大別されますが、一般地理学のなかで、人文・社会現象を直接の対象とする分野を人文地理学といい、自然現象を対象とする自然地理学と対比されます。人文地理学は、さらにその内容が産業・経済、集落（都市・村落）、人口、民族・文化・社会、政治などに細分されます。

今回、楽しくなる人文地理学のセンスを多くの人に身に付けてほしい、そんな願いからこの教科書を選びました。

世界の各地域には人々の様々な生活が見られます。人々はそれぞれの自然環境と深く関わり合いながら、それらを生活の舞台として自分たちの知恵と努力によって特色ある生活を展開しています。世界の諸地域の自然、生活、文化、集落、経済、政治などを通して世界の人々を理解し、それらの知識を身に付けるとともに、地理的なものの見方や考え方を養います。

■ 到達目標

1. 世界の諸地域の自然、生活、文化、集落、経済、政治などを通して世界の人々を理解し、それらの知識を身に付けます。
2. 世界の様々な事象が関係し合って、人々の生活や地域が成り立っていることを把握し、地理的なものの見方や考え方を養います。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
序	地理学とは何か <ul style="list-style-type: none"> ・ 地理学の対象は「地表の構造」 ・ 比較の視点を有する ・ 人間と自然との共生を理解 ・ 複眼的で広角的に観察
1	地図に親しむ <ul style="list-style-type: none"> ・ 地図とは ・ 縮尺について ・ 方位を決める ・ シミュレーションも三次元の地図で示せる
2	身の回りの景観 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地理学の景観 ・ 身の周りの景観から考える ・ ヨーロッパのバカンス制度と習慣 ・ 日本の海水浴 ・ 誰によって創られるのか ・ 文化景観の観察によって何を学ぶか
3	フィールドを歩いて地域を調べる <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観を観察して人びとの生活を調べる ・ 聞き取りをして人々の生活を調べる ・ まとめ

学習範囲 該当する章など	学習内容
4	環境の変化と高潮被害 <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風と高潮 ・ 見慣れた街が海になった ・ 旧海岸線と干拓地 ・ まとめ
5	人口の地理学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口移動のパターンは変化する ・ 外国人分布 ・ まとめ
6	日本の産業に何が起きているか <ul style="list-style-type: none"> ・ チョコレートの消費量 ・ 産業を分類し、年代を追うと経済の変化が見える ・ 成長続けるソフト系産業 ・ まとめ
7	都市とは何か <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市の定義 ・ 人口が多くても非都市的 ・ 人口が少なくても都市的 ・ 異なる都市内の人口分布 ・ まとめ
8	都市と農村 <ul style="list-style-type: none"> ・ ライフスタイルの違いが景観に反映 ・ 都心はどうして高層化するか ・ 八王子にみる都市と農村 ・ 伝統工業から近代工業へ ・ まとめ
9	観光・余暇の地理学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 隔絶山村の暮らしと合掌造りの景観 ・ 電源開発と山村の変容 ・ 世界遺産への登録と観光がもたらしたもの
10	人・モノの流れ <ul style="list-style-type: none"> ・ 人・モノの流れと立地 ・ さまざまな商品と客の動き ・ 業種別にみる小売業立地の特徴 ・ 「スーパー」と「コンビニ」 ・ まとめ
11	GISって何だろう <ul style="list-style-type: none"> ・ 地理情報と私たちの生活 ・ 地理学とGIS ・ GIS y とGIS c とは ・ 地理情報システムの原理 ・ 地理情報の分析 ・ まとめ
12	・ マイノリティの地理学から批判地理学へ ・ すみわけから排除へ ・ クリティック（批判）するとは？
おわりに	おわりに <ul style="list-style-type: none"> ・ 地理学を学ぶ意義

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
----	------

試験	<p>まず、教科書で試験範囲を正しく把握します。それを踏まえて、試験範囲の内容をよく理解しながら、熟読して下さい。しかも試験範囲のどこから出題されても解答できるように、試験範囲をしっかりと読みましょう。決して山をかけないように。試験勉強を通して、教師になるために必要な知識と技能を確実に身に付けるのだという気持ちで臨むとよいです。</p> <p>教科書の内容について、その理解と習得を問います。</p>
レポート	<p>レポートを作成する際に最も大切なことは、与えられた課題の題意をしっかりと把握することです。課題が何を求めているのか、正しく認識し、それに対応した論理構成でレポートを組み立てていきます。なかには、これが不十分のいわゆる「的外れのレポート」が時々見受けられます。</p> <p>次に、大切なことは、自分の言葉で綴るといことです。教科書の該当する箇所をそのまま丸写しにしたものや、教科書や参考書の文章を切り貼りした継ぎはぎのものがありますが、いくら課題の題意を把握していても、レポートの価値はなくなってしまいます。平易な表現でもよいですから、内容をしっかりと理解して自分なりの表現や言葉づかいでまとめて下さい。</p> <p>さらに、大切なことは下書きの段階で十分推敲を行うことです。下書きをよく読み、レポートを何回もチェックしましょう。推敲を何度も行うことによって、レポートを書くことに慣れ、また、レポートの完成度が高くなります。推敲の時間も十分取るように心掛けましょう。</p>

■ 評価方法

- 科目試験：70%
- レポート：30%

■ 教科書

書名：現代地理学入門身近な地域から世界まで
著者名：高橋・内田他
出版社名：古今書院
出版年：
版：
刷：
ISBN：

■ 参考書

各章の末尾に参考文献が挙げてあります。必要に応じて、利用して下さい。

■ 履修上のアドバイス

高等学校教育において「地理」を履修しなかった人は、高等学校用の『地理用語集』『地理事典』『地図帳』などを手元に用意して活用されるとよいでしょう。

それでも不十分な場合は、大学教養用の『地理辞典』（二宮書店）『最新地理学用語辞典[改訂版]』（原書房）『人文地理学辞典』（朝倉書店）『人文地理学事典』（丸善出版）などがあります。

教科書を丁寧に読み、わからない語句や用語がないように辞書などでよく調べ、その上で内容全体も正確に把握して下さい。大切なことは、通読のレベルにとどまらず精読することです。

■ 自習時間

個人差がありますが、レポート1課題あたりの作成に20時間程度、科目試験の勉強に40時間程度が考えられます。

■ 担当者のプロフィール

1949年に北海道函館市生まれ、神奈川県横浜市で育つ。
 関心を持つ分野は「地理学」「地理教育」「社会科教育」
 好きな言葉は「使命を自覚するとき、才能の芽は急速に伸びる」